



東京工芸大学・風工学共同研究拠点・公開研究会のご案内

## 「緑化ファサードの熱輸送現象の把握と自然換気性能への影響」

昨今、国内外では積極的な緑化を施した建築物が増加傾向にある。この動きは、緑化による環境的なイメージが不動産価値を向上させることを期待したものである。しかし、緑化ファサードを導入することによる環境的效果は知見が不足しており、予測評価手法も未整備である実情がある。本共同研究は、既往の研究成果が蓄積された屋上緑化ではなく、その熱輸送現象が十分に解明されていない壁面緑化を対象とし、緑化ファサードが主に建物の空調負荷や自然換気性状に与える影響について調査することを目的として実施された。今年度は緑化ファサードを採用する最新事例調査を行い、樹種や緑化率の違いが日射遮蔽性能・自然換気性状に与える影響について基礎的な実験を行った。今年度の研究成果を報告すると共に、環境性能の高い緑化ファサードのシミュレーション評価手法や設計手法について議論を行う予定である。緑化ファサードに興味を持つ研究者・学生・実務者の積極的な参加を期待する。

**【日時】** 2020年2月29日 10:00~12:00

**【会場】** 東京工芸大学 中野キャンパス 1号館1階1101教室

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5

アクセス：<https://www.t-kougei.ac.jp/access/#nakano>

**【参加費】** 無料

**【参加申し込み】** 当日受付可能ですが、受付にて氏名等の記入が必要となります。

(事前参加申し込みをお勧めします。申込は氏名・会社名・電話番号を下記までメールしてください。)

**【問い合わせ先】** 東京工芸大学・風工学研究拠点 046-242-9658

拠点事務局 [jurc\\_office@arch.t-kougei.ac.jp](mailto:jurc_office@arch.t-kougei.ac.jp)

### 【プログラム】

時間	タイトル 発表者(所属)
10:00~10:05	開会挨拶, 趣旨説明 山本佳嗣 (東京工芸大学)
10:05~10:30	オフィスのウェルネス化とこれからのファサード設計 樋山恭助 (明治大学)
10:30~10:55	Balancing of natural ventilation, daylight, thermal effect for a building with double-skin perforated facade Thanyalak Srisamranrungruang (Meiji Univ.)
10:55~11:20	緑化ルーバーを導入した先端的な建物事例について 山本佳嗣 (東京工芸大学)
11:20~11:40	可動式緑化ルーバーの試作と性能評価実測 大久保昌羽 (東京工芸大学 学部4年)
11:40~11:55	総合討議 司会 山本佳嗣 (再掲)
11:55~12:00	閉会挨拶 樋山恭介 (再掲)